

生涯学習実施推進計画改定素案区民説明会での意見

開催日時：平成26年11月18日（火） 午後6時30分～8時

開催場所：緑が丘文化会館 第3研修室

参加者：4名

NO.	整理番号	種別	主な意見	回答	分野	対応区分
1	7-1	口頭	生涯学習に関連する事業はたくさんあるが、それぞれに関連する部課長が出席し、事業内容について実施状況について説明等するべきではないのか。	計画に掲載している生涯学習関連事業は、所管課との調整・検討の上、生涯学習の推進に寄与する事業を選定し、計画事業としました。各所管の事業であっても、生涯学習に関わるものであるため、事務局である生涯学習課が説明させていただきます。	12	7
2	7-2	口頭	生涯学習の認識というのがそれぞれで違うのではないか。例えば本を読むことだけでも生涯学習と認識していない人、何か団体に属していないと思っていない人が多いのではないか。	生涯学習活動は個人でも団体でも行えるものです。生涯学習活動とは、どのようなものか、どんな活動が含まれるのかの理解をさらに進められるよう取り組んでいきます。	1	3
3	7-3	口頭	学んだ知識を地域で生かすということが前提だと言われると難しい。	学んだ知識を地域で生かしていく「地域還元」は目標の一つであり、それに対する場の提供や機会を提供していくことは、方策の一つであると考えます。地域還元をしない、自分のための学習が意味がないとは思っていません。生涯学習活動に参加する区民を増やすことも重点プロジェクトの一つとしています。	8	3
4	7-4	口頭	計画に載っている事業で「図書館資料の充実」と記載されているものがあるが、現在、財政状況の悪化等で予算が削られているものに対して充実という言葉はおかしいのではないか。	予算規模のみで考えるのではなく、図書資料であれば、毎年度、図書を購入しているため、蔵書は増えています。また、より良いものを提供できるよう、様々な視点から購入する図書を選定しています。そのような点から「充実」と考えています。	10	5
5	8-1	口頭	学んだ知識を地域で生かすということは、何か具体的な技を学んでそれを教えるということではなく、学んだことを町会で生かすなども、地域で生かす方策の一つになると思う。	まさに地域還元であると考えます。そのような発想も踏まえ、地域の担い手を育成する講座を実施していきたいと考えています。また、地域情報等を講座の中で提供し、講座後に活動につながるようなきっかけを作りたいと考えています。	10	2
6	8-2	口頭	家庭教育講座は現在は学校の在校生の保護者を対象としているが、地域の人でも参加できるようにしていければ、地域に生かすということにつながるのではないか。	他校や地域からも参加したいという要望があるため、講座の実施予定を全校の担当者あてに送るなど、参加者の幅を広げる工夫をしているところです。なお、安全面についての配慮が必要なので、検討が必要と考えています。	10	3
7	8-3	口頭	生涯学習関連事業の進捗調査や検証は具体的にどのようにやっていくのか。評価の基準を設けていった方がよい。また、評価は毎年していった方がよいと思う。	重点プロジェクトで掲げた事業について、各所管課へ依頼して進捗管理と評価を毎年度行っていきます。評価基準については今後どう設置するかも含めて検討していきたいと考えています。	10	3
8	9-1	口頭	中高年の人材に対しては、情報を積極的に与えていくことが大切だと思う。 例えば、私が参加しているサークルの人たちに「こんな講座をやるみたいだよ」と紹介すると興味がある人は参加している。 「縦割り」の情報提供ではなく、所管をまたがるような、幅広い情報提供をしてほしい。	情報発信の工夫の中で、区ホームページでの講座情報、団体紹介を見やすくしていくなど、様々な切り口からの情報提供を検討していきます。	5	2